

教材を用いた授業参観の報告書

はまっ子防災
TOPP



令和4年11月20日(日)

磯子区の根岸中学校と地域住民との合同防災訓練の様子を参観させていただきました。一年生は『はまっ子防災教材』を用いた座学授業がおこなわれました。生徒たちの生の反応を見学することができました。

令和4年 11月 20 日(日) 磯子区根岸中学校

教室で活躍する“はまっ子防災教材”

防災ガイドを中心に各アイテムを用いて授業が進みました。授業開始前の休み時間から教材に関心を示す生徒や、ガイド内のQRから視聴できる解説動画にくぎ付けになる生徒が見受けられ、設定した役割を各アイテムが果たしてくれている様子を確認することができました。教材に横浜市オリジナルの防災情報を掲載していることで、自分ごととして防災をとらえながら学習ができている様子が伺えました。授業の様子は、生徒のみなさんに「地域防災の担い手」として活躍してもらえることを目標としているプロジェクトの達成を予感させるものでした。

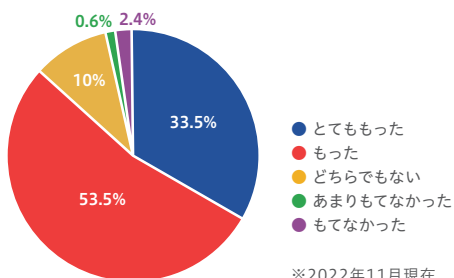




生徒たちの反応

生徒たちが防災について考える様子は、行動、心構え、備蓄、安全など、様々な方面に広がり、楽しみながら考えてそれぞれに意見を出し合っていました。趣旨としている『楽しく防災を学ぶ』が実現していることを実感すると共に、横浜市内に確実に防災意識と知識が積み重なることを確信しました。

○ 教材を使用した生徒対象のアンケート【170件の回答】
『はまっ子防災プロジェクト』の教材を使った防災学習をきっかけに、防災に興味や関心を持ちましたか、また強まりましたか？



※2022年11月現在



企業執筆ページの反響

学校では教わらないけどすぐ身の回りにある企業の技術や取り組みの紹介は、新しい発見として生徒の心に刻まれているようでした。アンケートでも「知った、理解した、わかった」などの反応がとても多く寄せられました。

授業の終わりに…

生徒の皆さんに制作側の気持ちを伝える時間をいただきました。災害に遭遇したとき、一つの知識を知っているかそうでないかで命の有無が左右されることや、家族や友人を亡くす可能性があること。そのときの判断や日頃からの対策を知ること、回避できることがあることを伝えました。また、多くの人々の協力と努力によって作り出された教材を、多くの企業の支援で届けられていることを伝えました。生徒の皆さんは真剣に聞いてくれました。

